

(別添1)

## バイオマスマーク認定申請書類作成にあたっての留意事項

一般社団法人日本有機資源協会

2022（令和4）年3月19日改定

2019（令和元）年9月1日改定

2012（平成24）年4月1日改定

2006（平成18）年8月1日施行

2006（平成18）年6月28日制定

この留意事項は、バイオマスマークの認定申請に当たって必要な申請書類の書き方、添付書類について取りまとめたものです。

### 第1 バイオマスマーク認定申請書（様式1）

1 様式1はバイオマスに由来する原材料が同一成分で同一目的の商品を1件として提出してください。なお、サイズ違いによるもの、デザイン違いのもの、顔料や染料を変えた色違いのものは、まとめて1件として申請できます。レジンなどの中間製品も申請できます。

### 2 申請日

事務局宛てに申請書類を提出する日を西暦で記入してください。

### 3 申請事業者名

バイオマスマークの認定申請を行う事業者名（個人の場合は個人名）を記入してください。

### 4 代表者

申請事業者の代表者の情報を記入してください。

### 5 申請担当者連絡先

認定申請の担当者の情報を記入してください。

## 6 業態等

申請事業者の業種等の情報を記入してください。

## 7 社印

社印を原則としますが、事業部制等をとっている場合は、担当部署の「印」でも可とします。また、個人が申請する場合を除き、個人印は不可とします。

## 8 商品名

申請する商品名を記入してください。商品名は1つとし、原則、市場で用いる固有の名称としてください。固有の名称がない場合、消費者が商品を想定できる商品名を付けてください。

商品名の文字は全角、半角、大文字、小文字、スペースの有無に留意してください。商品名は協会のウェブサイト公開されます。デザイン違いのもの、顔料や染料を変えた色違いのものが含まれる場合も、商品名は1つとします。

## 9 型式

商品の型式がある場合は記入してください。サイズ違いによるもの、デザイン違いのもの、顔料や染料を変えた色違い等、まとめて1件で申請する場合は、それぞれを特定できる型式名（グレード名）を記入してください。

## 10 発売状況

該当箇所を■にします。

発売未定の場合はバイオマスマーク使用契約の締結日から起算して6か月以内を目安に記入してください。

### 1.1 申請商品の代表的最終製造工場

#### (1) 生産方式

該当箇所を■にします。直轄の自社工場生産以外は他社生産とし、製造委託、買付け等と記入してください。

#### (2) 工場名

2か所以上ある場合は代表的工場を記入してください。または、別紙にすべての工場を記入してください。

## 1.2 環境負荷

申請商品の製造にあたって公害排出の勧告や摘発について、該当箇所を■にします。勧告や摘発を受けたことがある場合は、是正措置等を講じた書類を添付してください。

## 1.3 申請商品は他の認証を受けているか

他に規格認証を受けている場合はその名称を記入してください。他の機関の認証を取得している場合は、これらを審査の参考とします。

## 1.4 申請商品の説明

申請商品に関する以下の事項を記入してください。

- ・従来の原材料
- ・代替する原材料
- ・使用目的
- ・用途
- ・構造（複層構造であれば具体的な内容、シート/成形品なのか、など）

なお、最終製品の一部を申請商品とする場合は最終製品のどの部分が申請商品にあたるかを明確にしてください。

### (1) 使用部位

申請対象の部位を記入してください。

申請商品の全体を対象とする場合は全体、申請商品の一部を対象とする場合はその部位を記入してください。ここで記載した使用部位が(2)のバイオマス度の対象です。

### (2) バイオマス度

様式3 右上欄のバイオマス度を転記してください。

## 1.5 関係する法令や規格名

品質及び安全性に関連する法規、基準、規格等を記入してください。JIS規格や業界の自主基準などを参考に申請商品がバイオマスを含まない他の同様な商品と比べて概ね同等の性能を有しているかを確認します。

## 1.6 添付書類（証明書、SDS等）

安全性、機能性等を証明する資料名を記入し、それを添付してください。他の規格認証を受けている場合はその認定書のコピーを添付してください。なお、各原材料の SDS (MSDS) 及びバイオマスに由来する原材料のバイオマスの割合を証明する書類は必須です。

#### 17 マークの使用期間

該当箇所を■にします。バイオスマークの使用契約期間は原則2年間です。ただし、流通期間の短い商品やサンプル品等は1年間とすることができます。1年間を選択した場合はその理由を記入してください。

#### 18 申請商品のカラー写真

商品のイメージが分かるように、無背景の鮮明なカラー写真を貼付してください。商品化されていない場合は、試作品の写真や、商品の外観が分かるデザイン等を貼付し、その旨を写真の横に記入してください。

### 第2 バイオスマーク認定申請商品原料構成表 (様式2)

#### 1 申請日

様式1の該当箇所から転記してください。

#### 2 商品名

様式1の該当箇所から転記してください。

#### 3 原材料名

原則、乾燥重量割合の大きい順に上から記入してください。原材料名はSDS、MSDSに記載されている製品名を記入してください。

なお、バイオスマーク認定商品を原材料に使用する場合は、その「バイオスマーク認定No.」も記入してください。

#### 4 重量%

乾燥重量割合(%)を記入してください。なお、小数第1位まで記入し、合計が100.0になるようにしてください。

水分を含むものや液体の場合は、水分や揮発成分を除いた重量割合を計算して記入ください。ただし、水分や揮発成分を含むことが申請商品の常態である

場合はこの限りではありません。

## 5 安全性、バイオマス割合等の確認資料名

原材料ごとに「SDS」または「MSDS」等と記入してください。バイオマスに由来する原材料には「バイオマスの割合証明書類」と記入してください。

その他の資料がある場合は、それぞれの確認資料名欄に記入してください。

(例)

- ・ポリオレフィン系の場合はポリオレフィン等衛生協議会の確認証明書
- ・印刷インキについては NL 規制に関する証明書
- ・塩ビ（ポリ塩化ビニルまたは塩化ビニル樹脂）の場合は塩ビ食品衛生協議会の確認証明書
- ・塩化ビニリデン場合は塩化ビニリデン衛生協議会の確認証明書等
- ・各業界団体の基準に合致していることを証明する書類
- ・STマーク等

## 6 CAS No.

原材料のCAS No. をSDS (MSDS) から全て転記してください。

なお、SDS (MSDS) にCAS No. の記載がない場合は、その内容を踏まえて「非開示」「非公開」「該当なし」等と記入してください。審査委員から指摘があった場合は、当該原材料の成分について調べていただく場合があります。

## 7 資料No.

資料No. は原材料ごとに一つの番号を付してください。SDS、バイオマス割合を証明する書類、各種証明書等、複数の書類が添付される場合も原材料ごとに、同じ一つの番号としてください。

添付書類は原材料ごとにクリップ留めにし、それぞれ最初のページ右上に資料No. を記入してください。ホチキスで綴じないでください。

## 8 主な用途

あてはまるものを■にします。複数選択した場合は代表的なものに◎を付けてください。

## 9 食品に接触する商品としての使用

「食品に接触する商品としての使用」する場合は、食品衛生法及びそれに伴う政令等を遵守する必要があります。このため、食品に接触する商品としての使用が考えられる場合（レジ袋なども含まれます。）は、食品衛生法で定められた材質試験・溶出試験の成績書の写しを添付してください。

（例）

- ・厚生省告示第370号試験成績書（昭和34年）
- ・厚生労働省告示第380号試験成績書（令和2年）
- ・古紙を使用する場合は、蛍光物質を更に追加していないことの証明書と、  
蛍光物質試験成績書の写し

## 10 生分解性

生分解性を「表示する」場合、日本バイオプラスチック協会の生分解性プラマークを取得している製品については括弧内に「生分解性プラマーク」と記入して認証書の写しを添付してください。

生分解性プラマークの認証を取得していない場合は、括弧内に「生分解性試験成績書添付」と記入し、生分解性を証明する第三者機関の試験成績書の写しを添付してください。

## 11 防炎機能

防炎機能を「表示する」場合は、括弧内にそれを証明する資料名（消防法に基づく資料）を記入し、写しを添付してください。

## 12 抗菌機能

抗菌機能を「表示する」場合は、括弧内にそれを証明する資料名（細菌の増殖を抑制することを客観的に証明するもの）を記入し、写しを添付してください。

## 13 その他の機能

9～12項以外の機能を表示する場合は、「その他の機能」下欄の括弧内に表示する機能の内容を、当該機能を証明する資料名を「表示する」右欄の括弧内にそれぞれ記入し、その写しを添付してください。

### 第3 バイオマス度計算書（様式3）

#### 1 申請事業者名

様式1から転記してください。

#### 2 商品名

様式1から転記してください。

#### 3 バイオマス度

4項の計算によって求めたバイオマス度を小数第1位まで記入してください。バイオマス度は様式1に転記してください。

#### 4 バイオマス度の計算

バイオマス度は、以下の式から計算します。

バイオマス度 = 「申請商品に含まれるバイオマスの乾燥重量(%)」 ÷ 「申請商品の総乾燥重量(%)」 × 100

申請商品に含まれるバイオマスの乾燥重量はバイオマスに由来する原材料の乾燥重量(%)にバイオマスに由来する原材料に含まれるバイオマスの割合を掛けた値です。

バイオマスに由来する原材料中のバイオマスの割合は「バイオマスの割合を証明する書類」に記載されている値を使用してください。

計算に当たっては、次についてご留意ください。

計算結果のバイオマス度についてはその計算過程が分かるように小数第2位まで記入してください。

小数第2位以下を切り捨て、小数第1位までの数値を申請値とし、3項のバイオマス度の欄に記入するとともに、様式1の該当箇所に転記します。

申請商品に複数の型式がある場合等、乾燥重量割合に範囲がある場合は、バイオマス度が最小値となる乾燥重量割合で求めたバイオマス度を申請値としてください。ただし、審査委員会が申請商品の性状から上記の算式によりバイオマス度を求めることが適切でないと判断した場合は、審査委員会が申請商品に相応しい方法を申請者に提示しますので、それに基づき算出してください。

### 第4 バイオマスマーク認定商品変更申請書（様式4）

#### 1 バイオマスマーク認定商品の申請内容に変更が生じた場合、様式4により変

更申請が必要です。なお、バイオマス度の数値（5%刻み）の変更は認められません。

## 2 使用契約者、担当者等

新規申請時に登録した情報を記入してください。

担当者が変更になる場合は様式5（バイオマスマーク認定事業者変更届）、使用契約者が変更になる場合は様式6（バイオマスマーク使用契約者変更届）を別途提出してください。

## 3 商品名

バイオマスマーク認定商品の商品名を記入してください。

商品名の変更の場合は、新しい商品名を記入してください。

## 4 認定番号

バイオマスマーク認定商品の6桁の認定番号を記入してください。

## 5 内容

### （1）商品名変更

「商品名変更」と記入し、旧商品名と新商品名を記入してください。

### （2）型式の変更・追加

「型式変更」または「型式追加」と記入し、その内容を記入してください。

### （3）製造工場変更

「製造工場変更」または「製造工場追加」と記入し、新しい工場の情報を記入してください。

### （4）原材料の変更・追加

様式2の提出が必要です。

前回認定された様式2の記載内容を基に、使用を中止する原材料の資料No.の欄に「廃止」と記入してください。原材料を追加する場合は、様式2の記載内容に新しい原材料を記入し、資料No.の欄に「追加」と記入



してください。資料No. は続く数字を新たに付与してください。

追加する原材料のSDS（MSDS）を提出してください。

食品に接触する商品として使用する場合は、追加する原材料を含めた検体で実施した、食品衛生法で定められた材質試験・溶出試験の成績書の写しを添付してください。

#### （5）原材料の重量割合の変更

様式2、様式3の提出が必要です。

前回認定された様式2の記載内容を基に、重量割合を変更する原材料の重量%を変更してください。資料No. の欄に「割合変更」と記入してください。また、バイオマス度が変わる場合は、様式3により新たにバイオマス度を算出してください。